

た + す + と

2010年9月

第14号

市民活動や地域活動をしている方、
これから活動したいと思っている方に
役立つ情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2・3 **すぐに役立つ情報・スキルを伝授
地域づくりパワーアップ講座を開催**
- P 4 地域でいきいきと活動している団体をご紹介します
デイサービスを地域の拠点に ～NPO法人season
- P 5 満員御礼ありがとうございました
第1回さぼせんカフェ～米粉で語る地産地消～開催報告
たがサポ事業紹介
たがサポブックレビュー
『NPOの資金づくりがわかる本！～リーダーが知っておくべき成功のポイント』
- P 6 **利用者アンケートへのご協力ありがとうございました**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとこま



ここから活動の成果を発信！

→詳しくは右のコーナーへ

たがサポは1ヵ月間に約1,600名の方が利用しています。その来館者が必ず目にするのが、玄関を入って正面にある「展示スペース」です。

ここでは、市民活動団体、自治会・町内会の活動やその成果の発表のほか、会員やイベント参加者、ボランティアの募集などにも活用することができます。通常、団体の広報の方法には、チラシ・ポスター・ニュースレターなどの印刷物、ホームページ・ブログなどのウェブといったさまざまな方法がありますが、展示スペースでは、活動の様子を記録した写真や成果物など実物を使って紹介できるのが魅力です。スペースも広いのでとても目立ちます。

展示期間は2週間、無料で利用できますが、事前に申込が必要です。展示経験がない団体でもたがさぼスタッフが一緒に展示方法を考えます。ぜひ団体の情報発信にご活用ください。みなさんのご利用をお待ちしています。

すぐに役立つ情報・スキルを伝授 地域づくりパワーアップ講座を開催

今年度、多賀城市市民活動サポートセンターでは「地域づくりパワーアップ講座」と題し市民活動団体や自治会・町内会などの活動に役立つ講座を計3回実施します。

今回は6月24日(木)に実施した第1回『団体パンフレットを作ろう』と7月22日(木)に実施した第2回『資金調達のコツを伝授！一歩先行くお金の集め方』の内容を紹介します。

団体パンフレットを作ろう

日時：平成22年6月24日(木)午後7時～9時
場所：多賀城市市民活動サポートセンター大会議室
講師：NPOメディアデザインサポート
千葉浩二さん 真山正太さん

団体パンフレットは、自分たちの活動を知ってもらったり、会員や寄付者の獲得にもつながる大事なツールです。あるのとないのとは団体の情報の伝わり方が大きく違います。本講座では講師の真山さんからパンフレット作成のための基本や具体的なテクニックについてお話してもらいました。

●誰に何を伝えるか

はじめに団体パンフレットを作るには、その目的や対象を決めて、伝えたいことを明らかにします。団体の活動を知ってもらいたいのか、会員を募集したいのか、寄付を集めたいのか、といった**目的**と、年齢や性別、職種など誰に向けて情報を発信するのか、といった**対象**の絞込みが大切です。また、あれもこれもと掲載する内容を詰め込みすぎるとパンフレットで一番伝えたいことがぼやけてしまいます。伝える内容はシンプルにわかりやすくすることを心がけましょう。

●図版やイラストを活用しよう

目的や対象を明らかにし、掲載する内容が決まったら、実際のデザインやレイアウトに取り掛かります。その時に役立つテクニックやコツを真山さんから紹介してもらいました。

例えば、**図版**の活用です。文字情報を図説

やイラスト、写真など図版にすることによって相手にわかりやすく説明できたり、伝わるスピードが早いといった効果があります。また、**イラスト**を使用するのも効果的です。イラストはできるだけオリジナルのものを使うことで人のぬくもりや息づかいが伝わります。たとえ自分で描けなくてもイラストの得意な人に頼むのも一案です。

●気持ちが大事

講座の後半では実際に受講者に手を動かしてもらいデザインの下書きを体験するワークを実施しました。「パンフレットなどを作成する場合、一番大切なことは楽しみながらつくること。そして、伝えたい想いをパンフレットに載せること。どんなに良いデザインでも気持ちがこもっていないと相手には伝わりません。」と真山さんは話していました。

●受講者のその後

今回の講座は、10団体から15名の受講がありました。受講者からは「基本的な考え方を学べてとてもよかった。」「紙面のバランス配分等が参考になった。」「チラシ、ポスター作りにも役立てたい。」という声が寄せられました。講座終了後もパンフレット完成までスタッフがメディアデザインサポートと協力して受講者へのアドバイスを続けています。現在、4団体が実際にパンフレットの作成を進めており、掲載する文章の表現を検討しているところです。

たがサポでは今回の講座に限らずパンフレットやチラシ、ポスター、ニューズレター作成のための相談に応じています。今回、講座に参加できなかった方も気軽にたがサポまでご相談ください。



講師の真山さん



講座の中ではワークも行いました



アドバイザーの高橋さん



大事なポイント満載のお話でした

資金調達のコツを伝授！ 一歩先行くお金の集め方

日時：平成22年7月22日(木)午後7時～9時
場所：多賀城市市民活動サポートセンター大会議室
アドバイザー：日本財団
公益・ボランティア支援グループ
高橋秀章さん

平成20年度に当センターが実施した市民活動調査の中で、多くの団体が資金不足を課題に挙げていました。今回の講座では、課題解決のために必要な①資源や財源の整理②自主財源や助成金獲得のため基本③情報公開の重要性などをお伝えしました。

●市民活動では自主財源が大切

多くの市民活動団体が、活動の継続や発展に必要な資金の情報やノウハウの不足に悩んでいます。しかし、資金調達の前に、まずは今あるメンバーや協力者、団体のネットワークを活用したり、モノ、情報など活動を支える団体の資源を見直し、有効利用していくことが大切です。

市民活動団体には多様な資金源があります。持ち出し、会費、寄付、事業収益といった「自主財源」と、助成金・補助金、委託金といった「他主財源」です。助成金や補助金は、あくまで活動を充実させるために力を添える資金で、単年度・単発のことが多いです。これらの他主財源を上手に活用しながら自主財源の割合を高めていくことが重要です。

●助成金とは？申請する前に・・・

また、アドバイザーとしてお越しいただいた日本財団の高橋さんからは、主に助成金に

関するお話をいただきました。助成財団にとって、助成金とは目的を達成するための投資であり、市民活動団体はそのためのパートナーです。当然、助成側にも財源の限度があるため「より良い団体には良い活動をしてもらいたい」という思いから審査せざるをえません。

申請の際は、多くの助成金が事前相談を受け付けているので、申請前に相談してみingことをおすすめします。また、助成金は募集方法や助成対象、選考方法などに様々な種類があるので、事前にそれぞれの助成金の性格や特徴を押さえて申請する必要があります。

●情報開示は信頼を得るための第一歩

資金を調達するために一番重要なことは、団体の活動を社会に広く発信することです。具体的には・・・

- ・どんな団体か？(基本情報)
- ・なにができるのか？(能力、専門性)
- ・なにをしてきたのか？(実績)
- ・今なにをしているのか？(現状)
- ・財政状況はどうなっているのか？(体力)

これらをパンフレットやニューズレター、ウェブ等を用いて普段からきちんと情報開示することで、社会からの信頼を得、共感の輪を広げることになり、資金調達にもつながります。

今回は12名が受講しました。受講者からは、「資金調達はもちろん、助成金等の申請方法を具体的に知ることができた。」「情報開示に積極的に取り組む姿勢が大切であることに気づかされた。」「資金を増やすためのノウハウ、準備のしかたが理解できた。」などの感想が寄せられました。

「地域づくりパワーアップ講座」日程変更のお知らせ
チラシなどで第3回目を9月21日(火)実施と予告していましたが、都合により日程が変更となりました。
日程が決まり次第、当センターホームページ・ブログなどでお知らせいたします。

地域でいきいきと活動している団体をご紹介します

デイサービスを地域の拠点に

ち

NPO法人season(シーズン) デイサービスセンター「なべさん家」

●理想の介護をめざして

笠神地区の住宅地の一角、どこにでもあるような一軒家に「なべさん家」と書かれた看板が出ています。ここはNPO法人season(シーズン)が平成20年5月に開設した高齢者デイサービスセンターです。

多賀城市内でNPO法人が運営する唯一の高齢者施設なべさん家は、代表の渡邊晃さんの想いから始まりました。もともと病院で看護師をしていた渡邊さんは、家族に介護が必要になったことをきっかけに介護に興味を持つようになりました。経験を積む中で「施設よりも自宅や住み慣れた地域の中で過ごす方が利用者にとってはよいのではないか。」という強い想いを抱き、「自分でデイサービスを始めたい。」という気持ちになったそうです。その後、介護施設に転職し、そこで出会った仲間とNPO法人を設立。なべさん家で理想の介護を目指す日々が始まりました。



スタッフと子供たち

●あえて「バリアアリー」

なべさん家は、家庭的な雰囲気大切にしながらサービスを提供しています。築30年の民家を利用しており、一般的な高齢者施設とは違い数々のバリアで溢れています。あえてバリアを残すことで、利用者が普段生活している家に近い環境をつくり、できるだけ自分のことは自分でしてもらえようとするためです。スタッフはそのお手伝いをしています。

室内は昭和の雰囲気を作るためにわざと昔からの家にあるような家具を揃えています。利用者の送迎車には、マークや文字も入れずに、見た目ではデイサービスの車とはわからないようにしています。このような細かい工夫から、利用者は施設に通うというよりもなべさん家に遊びに行くという感覚でサービスを利用しています。

●子どもが潤滑油

seasonでは介護の分野だけではなく、なべさん家を拠点に世代間交流や子育て支援を通して、住民が生き生きと暮らせる地域づくりを目指しています。

具体的な取り組みとして、スタッフたちの子どもが利用者と一緒に過ごせる環境をつくっています。保育所などに預けなくてもよいので費用負担が軽減されるとともに、身近にいて安心して働くことができます。

利用者にも好評で、スタッフに子どもの育て方などを生き生きと語る姿が見られるようになりました。また、核家族が多い時代で、子どもたちも世代を越えたコミュニケーションの場になっています。

今後は施設を増設して託児所を併設し、地域の子どもたちも受け入れていきたいと考えているそうです。このように活動の輪をひろげ、団体の理念にもなっている「あなたらしく、わたしらしく、今を生きる。」ことができる地域をつくっていききたいと渡邊さんは話しています。

NPO法人season

デイサービスセンター「なべさん家」

住 所：多賀城市笠神2丁目14-44

T E L：022-365-9727

E-mail：kazu.shiki422@coast.ocn.ne.jp

さぼせんカフェ開催報告

満員御礼

ありがとうございました

第1回さぼせんカフェ

～米粉で語る地産地消～



ファミリーユニット「アトリエぶるぶる」

さぼせんカフェとは、市民活動に参加したことがないみなさんに、活動をより身近に感じてもらう1日限定のカフェのことです。

7月11日(日)に開催した第1回目は、「地産地消」をテーマに食とアートを融合させた活動を展開しているファミリーユニット「アトリエぶるぶる」の佐藤一家をお招きしました。食育コンダクターの資格を持つ佐藤真紀子さんから、炊飯器でつくる米粉パンの実演と、米粉

消費からみえる地産地消や食の安全についてお話していただきました。

参加者38名と多くの方に参加いただき「米粉の消費が広がると米の生産も増えますね。」「日常生活の中に地産地消を取り入れていきたいです。」という声も聞かれました。

今後またサポではさぼせんカフェを開催していきます。次回もお楽しみに！

今後のたがサポ事業紹介

◆9月9日(木)午後7時～8時30分
地域づくりいちから塾

地域や社会のお役に立ちたい方へ地域づくりの事例やNPOのいろはをお伝えします。

◆10月2日(土)午前10時～午後4時
たがさぼフェスタ2010

楽しむ！
つながる！
体験する！

※詳細は、ホームページやブログでお知らせします。URLは6ページをご覧ください。

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『NPOの資金づくりがわかる本！ リーダーが知っておくべき成功のポイント』

著 者：田中尚輝

発 行：学陽書房

発行日：2008年7月10日



★A3-006組織運営
の棚にあります

団体が継続的に活動するために重要な資源の一つが資金です。NPOの多くが資金作りに悩んでいるのではないかと思います。それをどのように解決していくのか？NPOがミッションを実現するためには、資金を調達することも大事です。しかし、その一方では資金調達に関心が低い団体も多いようです。本書では、あなたがお金を集められるリーダーになるために知ってほしい手法と覚悟を紹介しています。

資金を集めるためには、まず本当に必要な金額はいくらなのか、資金の用途は何か、いつまでに必要なのか、収入の組み合わせをどうするかを考えます。資金調達の具体的要素として、寄付をどう集めるか、事業収入をどう増やすか、助成金・受託事業の確保、指定管理者制度の活用法についても解説しています。お金の確保には一度や二度の失敗はつきもの。失敗が成功の糧になります。失敗したとしても、次の挑戦に活かせる不屈の精神をリーダーとして持てるかどうかが鍵です。

資金作りのノウハウ、活動を維持継続するためのお金の大切さを説くとともに、リーダーとしての心構えを述べた一冊となっています。

【スタッフ 小幡輝美】

■たがサポ文庫

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



平成22年度利用者アンケートへのご協力ありがとうございます

7月7日～27日の間、当センター全利用者を対象に「多賀城市市民活動サポートセンター平成22年度利用者アンケート」を実施しました。この調査は当センターの窓口対応とサービスの充実度や、本市の市民活動支援策についてのご意見をうかがうために実施し、218件の回答(回答率58.3%)をいただきました。

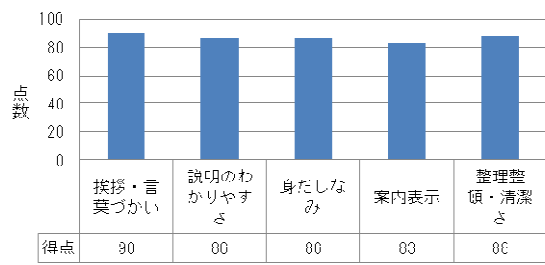
その結果、窓口対応における接遇については右の表の通り高い評価をいただきました。合わせて多賀城駅からの案内整備やエレベーター設置等について改善要望が寄せられました。

また、市民活動団体のほか、生涯学習団体も高い頻度で当センターを積極的に利用しており、9割以上が「活動拠点の確保」「講座などスキル向上」「知名度の向上」など具体的な効果を得ていることがわかりました。

当センターの業務が、実際の活動において幅広く役立てられている状況について、より数値的に把握することができました。

アンケート内容の詳しい結果については、ホームページやブログで改めて公開いたします。今回の結果を活かしながら、より効果的な市民活動支援を提供できるように努めてまいります。

質問Ⅲ 窓口対応の印象(100点満点)



■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的にしています。

開館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休館日：毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)

②市民活動に関する情報の収集・提供

・情報サロン

市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター
公式ホームページ
<http://www.tagasapo.org/>
事務局スタッフブログ
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック
してくださいね

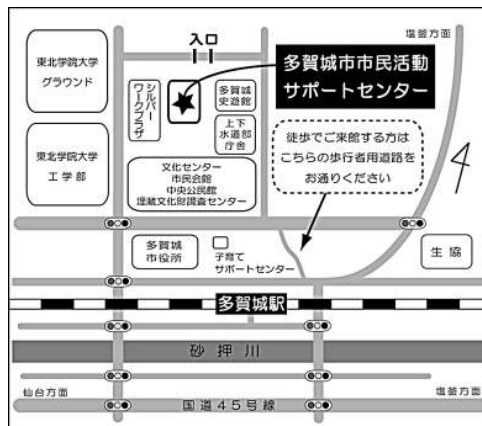
■たがサポは皆さんに支えられています

□自動販売機の設置

たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売(株)

□印刷作業室のコピー機

印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいております。



□発行：多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3

TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日：2010年8月20日

□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター